

みずほCustomer Desk Report 2020/02/04号(As of 2020/02/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

| | USD/JPY | EUR/USD | EUR/JPY | 公示仲値 | 108.55 |
|-------------|-----------|---------|----------------|---------|---------------|
| TKY 9:00AM | 108.39 | 1.1089 | 120.18 | GBP/USD | AUD/USD |
| SYD-NY High | 108.80 | 1.1096 | 120.40 | 1.3204 | 0.6707 |
| SYD-NY Low | 108.32 | 1.1036 | 119.93 | 1.2984 | 0.6684 |
| NY 5:00 PM | 108.67 | 1.1061 | 120.21 | 1.3000 | 0.6693 |
| NY DOW | 28,399.81 | 143.78 | 日本2年債 | -0.160 | 0.00bp |
| NASDAQ | 9,273.40 | 122.47 | 日本10年債 | -0.060 | 1.00bp |
| S&P | 3,248.92 | 23.40 | 米国2年債 | 1.3560 | 3.79bp |
| 日経平均 | 22,971.94 | ▲233.24 | 米国5年債 | 1.3482 | 3.41bp |
| TOPIX | 1,672.66 | ▲11.78 | 米国10年債 | 1.5247 | 2.04bp |
| シカゴ日経先物 | 22,875.00 | 145.00 | 独10年債 | -0.4445 | ▲0.90bp |
| ロンドンFT | 7,326.31 | 40.30 | 英10年債 | 0.5125 | ▲1.05bp |
| DAX | 13,045.19 | 63.22 | 豪10年債 | 0.9180 | ▲3.55bp |
| ハンセン指数 | 26,356.98 | 44.35 | USDJPY 1M Vol | 5.49 | ▲0.32% |
| 上海総合 | 2,746.61 | ▲314.15 | USDJPY 3M Vol | 5.58 | ▲0.32% |
| NY金 | 1,582.40 | ▲5.50 | USDJPY 6M Vol | 5.70 | ▲0.27% |
| WTI | 50.11 | ▲1.45 | USDJPY 1M 25RR | -1.50 | Yen Call Over |
| CRB指数 | 168.05 | ▲2.25 | EURJPY 3M Vol | 6.06 | ▲0.32% |
| ドルインデックス | 97.81 | 0.42 | EURJPY 6M Vol | 6.15 | ▲0.25% |

【昨日の指標等】

| Date | Time | Event | 結果 | 予想 |
|------|-------|-------------------|---------|------|
| 2月3日 | 23:45 | 米 マークイット製造業PMI・確報 | 1月 51.9 | 51.7 |
| 2月4日 | 00:00 | 米 ISM製造業景況指数 | 1月 50.9 | 48.5 |

【本日の予定】

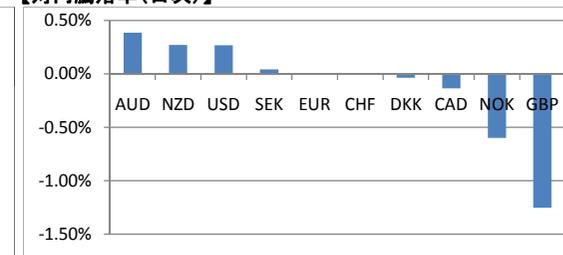
| Date | Time | Event | 予想 | 前回 |
|------|-------|-----------------|--------------|------------|
| 2月4日 | 18:30 | 英 マークイット建設業PMI | 1月 47.1 | 44.4 |
| | 19:00 | 欧 PPI(前月比/前年比) | 12月 0%/-0.7% | 0.2%/-1.4% |
| 2月5日 | 00:00 | 米 製造業受注(前月比) | 12月 1.2% | -0.7% |
| | 00:00 | 米 耐久財受注(前月比)・確報 | 12月 2.4% | 2.4% |

| | |
|--------|---|
| 東京 | 東京時間のドル円は108.39レベルでオープン。前日対比約2%程度下落して始まった日経平均株価がマイナス幅を縮小させると、ドル円は108円台半ば付近まで上昇。一巡後は、特段新しい材料がなく、同水準での小動きが続き108.52レベルでクローズ。 |
| ロンドン | ロンドン市場のドル円は、108.52レベルでオープン。コロナ感染患者数が増加の一途をたどる中、世界的な景気減速懸念が継続するも、本日のアイオワ州民主党党員集会を控え、様子見ムード。商いは総じて閑散となり、オープンとほぼ同水準の108.51レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3158レベルでオープン。EUのバルコニ主席交渉間とジョンソン英首相が舌戦を繰り返す中、ポンドは軟調に推移。1.3047まで下落し、1.3056レベルでNYに渡った。 |
| ニューヨーク | ニューヨーク市場のドル円は108.51レベルでNYオープン。朝方は108.50近辺でもみ合い、10時発表の米1月ISM製造業景況指数が予想上回り、半年ぶりに節目の50を回復すると、米金利の上昇とともにドル買いが強まり高値108.80をつける。しかし、米CDCが米国内で2件目の人から人へのコロナウイルス感染が確認されたと発表され、感染拡大の懸念が燃る中、108円台半ばまで下落。午後は108.60近辺で底堅く推移。「中国は米国に対して第一段階の合意を巡り柔軟性を求める」とのヘッドラインが流れるも、USTRが「ウイルスを理由に中国から合意に関する変更要請はない」と報道しており、ドル円は反応薄。終盤にかけてドル買い優勢となる場面もあったが、小幅に値を戻し、結局、108.67でクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、ジョンソン英首相が欧州各国との通商交渉で望む内容を得られなければ交渉を打ち切る姿勢を示したことを受け、先行き不透明感に売られるポンドにつれ安となり、1.1059まで下落し、1.1066レベルでNYオープン。朝方は好調な米経済指標を背景にドル買いが進み、一時1.1036まで下落するが、買いは長続きせず、指標発表前の水準まで値を戻す。手がかり材料が乏しい中、午後は1.1060近辺でもみ合い、結局、1.1061レベルでクローズ。 |

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】金融政策は当面据え置き姿勢だが...

足元の相場は、新型コロナウイルスに関する報道で上下する展開。感染力がどの程度の強さなのかと未だ全容がわからず、収束めど見えないまで、当面はリスクオフムードの強い展開となりそう。2003年に発生したSARSは約3~4ヶ月で収束していること、またあくまで素人的な感覚であるが暖かくなるとウイルスが弱まる印象(SARSの感染者数ピークは5月)があり、早期の収束を願うばかりだが、季節が変わって気温が本格的に上昇する頃まで、相場も不安定な状況が続くかもしれない。さて、先月開催された日米の金融政策決定会合は、事前の予想通りで大きな政策変更なく、無風のうちに終了。FOMCメンバーの予想する政策金利(ドットチャート)中央値は、直近FOMCでも変わらず年内金利据え置きとなっている。一方で市場の予想するFF金利先物では、年内1回以上の利下げを見込む向きは、昨年未だ半分にも満たず少数派だったのが、足元9割弱まで上昇。新型コロナウイルスによる先行き不透明感拡大と実態経済への懸念で、利下げ観測が高まっている。米国経済のファンダメンタルズについては、緩和的な金融政策とトランプ減税→株高→資産効果による個人消費への波及という好循環がまだ続いていると見られる。但し、直近FOMC声明文では、「個人消費は力強い→緩やかなペースで増加」と前回より表現が下方修正され、先週発表された10-12月期米GDPも個人消費は+1.8%(7-9月期+3.2%)に減速。米金融政策動向を見極める上でも、個人消費がここから踏み張れるかどうかに注目していきたい。民主党予備選がいよいよ始まり、米大統領選挙が本格化。初戦のアイオワ州では民主党左派が勢いづくなか、共和党トランプ陣営では選挙公約として減税第2段を検討。景気下支えを狙って、財政だけでなく昨年同様に金融政策面でも圧力がかかる可能性あり、米利下げ観測とともに、ドル安円高が進行する展開に留意しておきたい。(山岸)

■今週のドル/円 見通し

| | | | | | | | | | |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 田中 | 竹内 | 筒井 | 加藤 | 関 | 光石 | 山岸 | 田坂 | 尾身 | 上野 |
| ブル | ベア | ブル | ベア | ベア | ブル | ベア | ブル | ベア | ブル |
| 岡本 | 小野崎 | 玉井 | 原田 | 大庭 | 高村 | 松本 | 逸見 | 大谷 | 谷舗 |
| ブル | ブル | ベア | ベア | ベア | ブル | ベア | ブル | ブル | ブル |
| | | | | | | | ブル | ベア | |
| | | | | | | | 11 | 9 | |

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。